

# 資本コストと株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

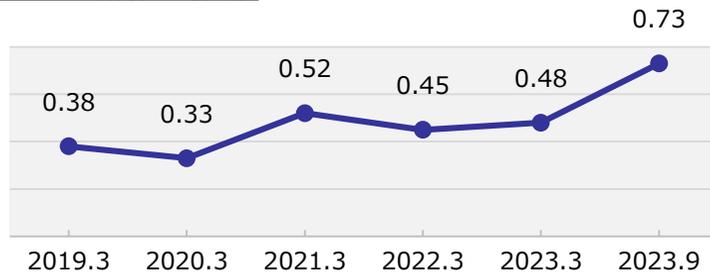
---

2023年12月22日  
水戸証券株式会社

当社は、中期経営計画を策定し、様々な施策を推進することで、ROEの向上に取り組んで参りました。この取り組みによりPBRは改善傾向にあるものの、依然として1倍を割り込んでおります。その要因としては、足もとのROEが当社の推計する広義の株主資本コスト6～9%程度を下回っていることが影響していると認識しております。

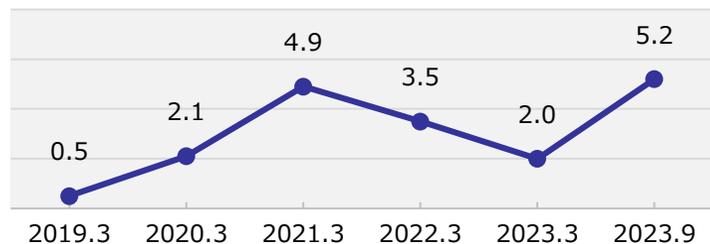
今後のPBRの改善に向けては、ROEの向上とともに広義の株主資本コストの低減が必要であると考えております。

## ●PBR(倍)の推移



※期末の株価と一株当たり純資産を使用

## ●ROE(%)の推移



## ●PBRの計算式

$$\begin{aligned}
 \text{PBR} &= \text{ROE} \times \text{PER} \\
 &= \text{ROE} \times \frac{1}{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}} \\
 &= \text{ROE} \times \frac{1}{\text{広義の株主資本コスト}}
 \end{aligned}$$

## ●PBRの改善に向けて

- ◆ ROEの向上(↑)
- ◆ 広義の株主資本コストの低減(↓)
  - ⇒ 株主資本コストの低減(↓)、期待成長率の向上(↑)

## ●当社が認識する株主資本コスト

株主資本コスト推計値 6～9%程度

持続的な企業価値の向上に向けて、キャッシュフローを増加させていくことでROEの向上を図り、期待成長を高めていくとともに市場との対話を深めることで株主資本コストの低減に取り組んでまいります。

| 企業価値向上                 | 重要項目              | 具体的な取り組み                 |
|------------------------|-------------------|--------------------------|
| ROEの向上                 | 顧客層・営業基盤の拡大       | 顧客にとって付加価値のある金融サービスの提供   |
|                        |                   | 地域密着型対面証券としての競争優位性の構築    |
|                        |                   | 地域の課題解決とプレゼンス向上による顧客層の拡大 |
|                        | キャッシュフローの増加       | 顧客生涯価値向上のための組織的対応力の強化    |
|                        |                   | 人的資本投資・デジタル化等による生産性の向上   |
|                        |                   | ストック収入による販管費カバー率の向上      |
| 資本の効率的活用               | 株主価値を考慮した資本コントロール |                          |
| 株主資本コストの低減<br>期待成長率の向上 | 成長戦略              | 持続的な成長の実現と非連続な成長戦略の検討    |
|                        | コーポレート・ガバナンス      | 資本コスト経営の実践               |
|                        | IR                | 市場を意識した情報開示および対話の充実      |